

衛研第1-43号
平成28年 1月20日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成28年第2週（平成28年1月11日～平成28年1月17日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸チフス1人の届出があった。四類感染症は、E型肝炎2人、デング熱2人、レジオネラ症1人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症1人、梅毒4人、風しん1人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**インフルエンザ**(2.07 4.76)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加した。保健所別では、幸手(1.86 9.86)、加須(2.00 8.00)保健所管内で大きく増加し、草加(7.18)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、全年齢階級から報告があった。**感染性胃腸炎**(10.01 10.91)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加し、保健所別では、熊谷(18.78)、川口(16.63)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、1歳が最も多く、5歳以下で全体の59.5%を占めている。**伝染性紅斑**(0.92 1.04)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加し、前年12月以降多い状況にある。保健所別では、川越市(0.38 1.50)、本庄(0.25 1.25)保健所管内で大きく増加し、坂戸(2.83)、鴻巣(2.17)保健所管内からの報告が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.45 2.51)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、熊谷(2.78 5.22)、坂戸(1.50 3.67)保健所管内で大きく増加し、春日部(5.17)保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**(1.55 1.01)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、前年に引き続き多い状況にある。保健所別では、東松山(1.80 3.20)保健所管内で大きく増加し、幸手(4.11)、春日部(2.50)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**29人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**細菌性髄膜炎**2人、**無菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**10人、**クラミジア肺炎**1人、**インフルエンザ(入院)**4人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸チフス	1人（推定感染地域 国外）
四類感染症	E型肝炎	2人（推定感染地域 国内 2人）
	デング熱	2人（推定感染地域 国外 2人）
	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人（血清群 G群）
	侵襲性肺炎球菌感染症	1人
	梅毒	4人（病型 早期顕症 期 2人、早期顕症 期 1人 無症状病原体保有者 1人）
	風しん	1人（病型 検査診断例）

1 この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

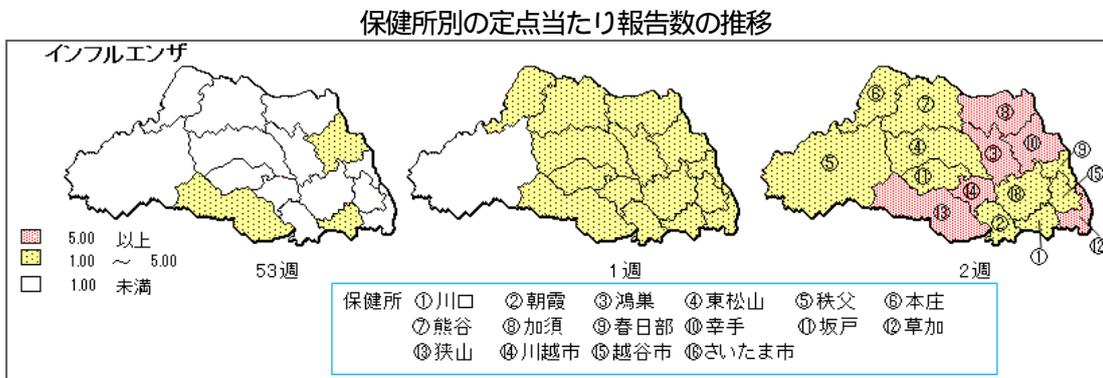
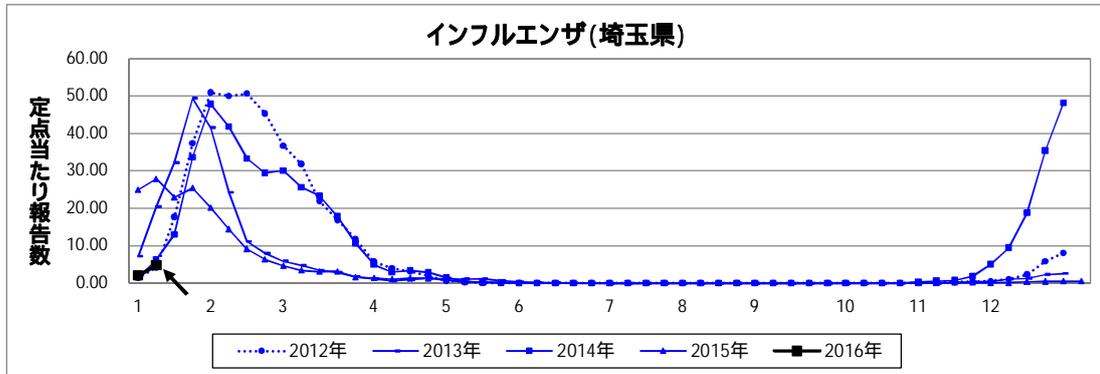
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

注目すべき疾患

- インフルエンザ -

第2週のインフルエンザの県全体の報告患者数は1,204人、定点当たり報告数は4.76で、第1週(515人、定点当たり2.07)に比べ倍増した。保健所別では、幸手(9.86)、加須(8.00)、草加(7.18)保健所管内からの報告が多い。



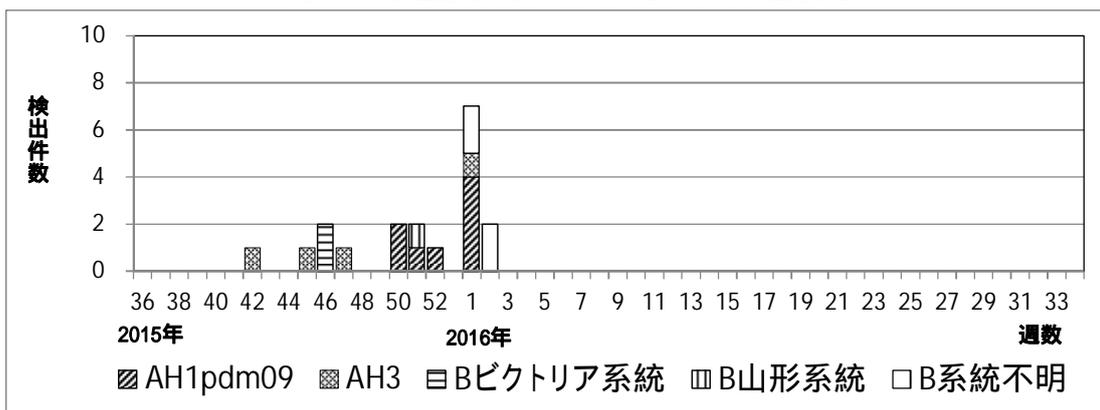
インフルエンザウイルス検出状況

熊谷(4人)、東松山(2人)、草加(1人)保健所管内で採取された検体から、今週新たにAH1pdm09が2件、A香港が1件、B型が4件検出された。9月(36週)以降の検出はAH1pdm09が8件、A香港が4件、B型が7件の計19件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級								計
		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
AH1pdm09	今週検出分	1				1				2
	累積	6	-	-	-	2	-	-	-	8
AH3(A香港)	今週検出分		1							1
	累積	2	2	-	-	-	-	-	-	4
B型	今週検出分	2	1		1					4
	累積	4	2	-	1	-	-	-	-	7

検体の採取週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第2週)

(2016年1月19日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2015年 累計		今週 届出	累計	2015年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1276	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス	1	1	1
細菌性赤痢			6	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症			167				
四類感染症							
E型肝炎	2	5	7	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
ウエストナイル熱				ニパウイルス感染症			
A型肝炎			16	日本紅斑熱			
エキノкокクス症				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
サル痘				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	4	90
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱	2	2	13	ロッキー山紅斑熱			
東部ウマ脳炎							
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	2	30	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	84
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			6	水痘*		2	10
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			40	先天性風しん症候群			
急性脳炎		1	28	梅毒	4	5	102
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			7
クロイツフェルト・ヤコブ病			10	破傷風			2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	12	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		1	35	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			9
ジアルジア症			4	風しん	1	1	8
侵襲性インフルエンザ菌感染症			14	麻しん			2
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計
* 2015年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核患者発生状況(12月分)

12月の報告数は、患者83人、無症状病原体保有者32人、疑似症1人の計116人で、前月の81人より増加した。患者で最も多い年齢階級は、70～79歳であった。

年齢階級別報告数

この情報は、感染症法に基づく届出について集計したものです。

平成28年1月20日

年齢階級 \ 診断類型	患者	無症状 病原体保有者	疑似症	計	
				今月診断分	2015年累計*
0～9歳	0	7	0	7	34
10～19歳	1	0	0	1	25
20～29歳	6	3	0	9	105
30～39歳	9	7	0	16	131
40～49歳	4	2	0	6	137
50～59歳	8	4	0	12	122
60～69歳	14	3	0	17	200
70～79歳	22	4	0	26	238**
80歳以上	19	2	1	22	284
計	83	32	1	116	1276

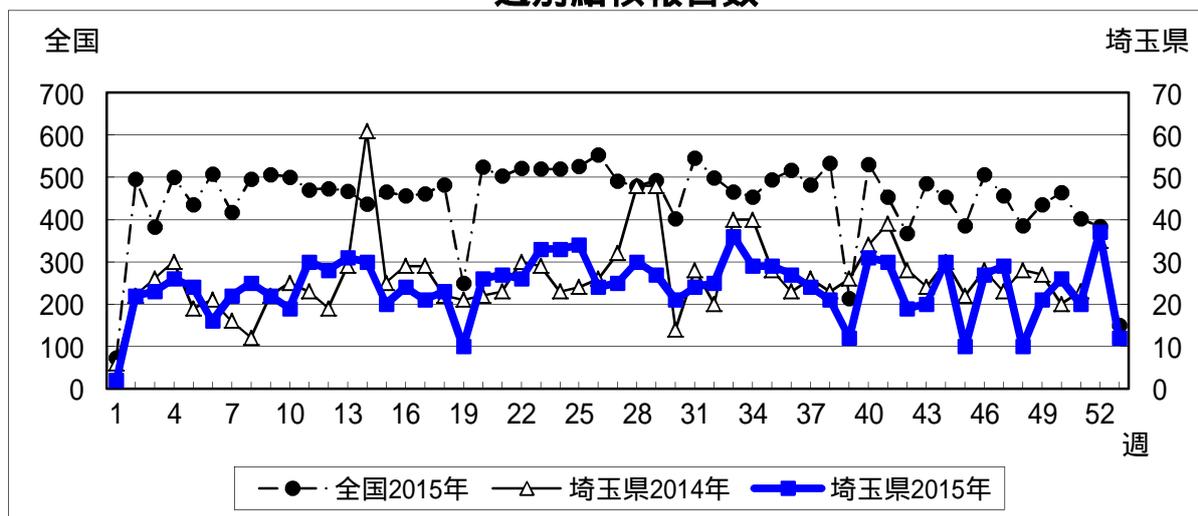
1月 19日

15 時集計

*2015年累計:1月からの累積届出数

**感染症死亡者の死体1件を含む

週別結核報告数



*NESID感染症発生動向調査WISH公開データ

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第2週 平成28年1月11日～平成28年1月17日)

	合計																					
	-6ヵ月	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～			
インフルエンザ #1	1,204	9	20	35	53	60	67	87	87	75	79	85	60	147	41	73	103	111	45	25	10	19
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
RSウイルス感染症	85	13	35	23	7	3	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	50	-	3	11	12	6	7	2	1	-	1	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	399	-	-	6	23	27	51	52	51	53	35	27	49	1	24	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,734	15	107	300	197	146	131	136	87	74	66	57	162	35	221	-	-	-	-	-	-	-
水痘	119	-	5	9	6	6	25	15	17	15	10	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	10	-	-	4	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	166	-	2	6	11	11	23	32	27	17	16	11	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	73	-	32	32	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	160	-	-	4	12	7	13	17	23	22	14	14	27	2	5	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	29	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	2	3	6	4	2	3	5	-	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	10	-	-	6	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 52週

(12月21日～12月27日)

平成28年1月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(6.65)、沖縄県(2.74)、北海道(2.35)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は41例と前週と比較して増加した。都道府県別では22都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(13例)、10代(3例)、20代(2例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(2例)、60代(4例)、70代(4例)、80歳以上(8例)であった。

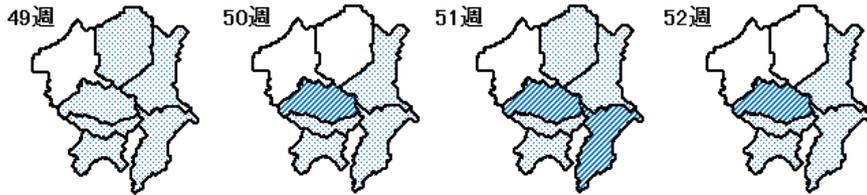
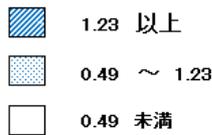
RSウイルス感染症の報告数は5,756例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.53)、新潟県(2.07)、石川県(1.24)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(8.50)、鳥取県(7.21)、北海道(6.27)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(23.61)、愛媛県(16.62)、富山県(16.14)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.47)、埼玉県(1.34)、山形県(1.23)である。手足口病の定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(0.32)、徳島県(0.30)、山口県(0.29)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(3.10)、大分県(2.42)、北海道(2.23)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.22)、石川県(3.00)、長崎県(2.75)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は奈良県(1.83)、福岡県(1.73)、富山県(1.60)、石川県(1.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。17都道府県から46例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1～4歳(25例)、5～9歳(7例)、60代(1例)であった。

<関東情報>

水痘の定点当たり報告数は、埼玉県(1.34)からの報告が多い。

水痘



平成27年 52週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	3,734	955	91	21	21	135	152	304	231
	定点当たり	0.76	0.64	0.76	0.28	0.21	0.54	0.73	0.74	0.72
RSウイルス感染症	報告数	5,756	1,076	139	67	99	241	105	277	148
	定点当たり	1.83	1.15	1.85	1.40	1.65	1.53	0.79	1.07	0.72
咽頭結膜熱	報告数	2,045	544	60	10	14	113	99	133	115
	定点当たり	0.65	0.58	0.80	0.21	0.23	0.72	0.74	0.51	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,832	2,855	154	135	211	590	391	835	539
	定点当たり	3.12	3.04	2.05	2.81	3.52	3.73	2.94	3.22	2.62
感染性胃腸炎	報告数	31,861	11,232	614	252	645	1,902	1,364	3,375	3,080
	定点当たり	10.11	11.96	8.19	5.25	10.75	12.04	10.26	13.03	14.95
水痘	報告数	2,443	920	45	14	29	211	146	234	241
	定点当たり	0.78	0.98	0.60	0.29	0.48	1.34	1.10	0.90	1.17
手足口病	報告数	347	72	9	8	1	15	8	13	18
	定点当たり	0.11	0.08	0.12	0.17	0.02	0.09	0.06	0.05	0.09
伝染性紅斑	報告数	2,616	566	53	54	47	142	100	112	58
	定点当たり	0.83	0.60	0.71	1.13	0.78	0.90	0.75	0.43	0.28
突発性発しん	報告数	1,231	348	15	20	24	69	40	97	83
	定点当たり	0.39	0.37	0.20	0.42	0.40	0.44	0.30	0.37	0.40
百日咳	報告数	40	11	1	-	1	1	5	3	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	0.02	0.01	0.04	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	96	22	7	-	4	2	4	5	-
	定点当たり	0.03	0.02	0.09	-	0.07	0.01	0.03	0.02	-
流行性耳下腺炎	報告数	2,785	780	111	48	18	163	142	154	144
	定点当たり	0.88	0.83	1.48	1.00	0.30	1.03	1.07	0.59	0.70
急性出血性結膜炎	報告数	9	4	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	-	0.09
流行性角結膜炎	報告数	592	224	22	11	16	58	32	21	64
	定点当たり	0.87	1.13	1.29	0.92	1.14	1.41	1.03	0.55	1.42
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	3	1	-	1	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.04	0.08	-	0.13	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	15	6	-	1	-	1	3	1	-
	定点当たり	0.03	0.07	-	0.14	-	0.10	0.33	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	322	67	10	6	4	8	6	29	4
	定点当たり	0.68	0.82	0.77	0.86	0.50	0.80	0.67	1.16	0.40
クラミジア肺炎 #3	報告数	12	4	-	-	-	1	1	2	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	0.10	0.11	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	46	4	-	1	-	-	-	2	1
	定点当たり	0.10	0.05	-	0.14	-	-	-	0.08	0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報 第 53週

(12月28日～1月3日)

平成28年1月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(7.55)、沖縄県(6.09)、北海道(2.71)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は54例と前週と比較して増加した。都道府県別では22都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(28例)、10代(2例)、20代(1例)、50代(5例)、60代(2例)、70代(2例)、80歳以上(11例)であった。

RSウイルス感染症の報告数は3,173例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.68)、島根県(1.48)、鹿児島県(0.91)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.66)、鳥取県(3.16)、北海道(2.35)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(10.67)、岡山県(8.87)、徳島県(8.39)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は滋賀県(1.09)、茨城県(1.07)、福岡県(1.02)である。手足口病の定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.25)、富山県(0.24)、山口県(0.21)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.18)、山形県(1.10)、秋田県(1.03)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(1.72)、沖縄県(1.68)、長崎県(1.55)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.29)、富山県(1.20)、愛知県(0.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。16都道府県から42例報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～4歳(30例)、5～9歳(5例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、茨城県(1.72)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成27年 53週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 4,290 定点当たり 0.89	740 0.53	116 0.97	40 0.53	27 0.28	126 0.55	147 0.71	167 0.43	117 0.41
RSウイルス感染症	報告数 3,173 定点当たり 1.03	432 0.49	71 0.95	36 0.75	29 0.48	85 0.59	54 0.42	113 0.47	44 0.24
咽頭結膜熱	報告数 1,024 定点当たり 0.33	218 0.25	25 0.33	4 0.08	11 0.18	44 0.31	50 0.38	56 0.23	28 0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 3,995 定点当たり 1.29	1,015 1.15	107 1.43	67 1.40	98 1.63	155 1.08	126 0.97	271 1.12	191 1.05
感染性胃腸炎	報告数 13,852 定点当たり 4.49	3,990 4.53	458 6.11	109 2.27	247 4.12	620 4.31	463 3.56	1,171 4.84	922 5.07
水痘	報告数 1,456 定点当たり 0.47	472 0.54	80 1.07	15 0.31	35 0.58	117 0.81	53 0.41	96 0.40	76 0.42
手足口病	報告数 136 定点当たり 0.04	22 0.02	2 0.03	3 0.06	-	5 0.03	5 0.04	3 0.01	4 0.02
伝染性紅斑	報告数 985 定点当たり 0.32	208 0.24	36 0.48	27 0.56	9 0.15	54 0.38	20 0.15	47 0.19	15 0.08
突発性発しん	報告数 645 定点当たり 0.21	158 0.18	12 0.16	10 0.21	14 0.23	28 0.19	21 0.16	52 0.21	21 0.12
百日咳	報告数 17 定点当たり 0.01	2 0.00	1 0.01	-	-	-	1 0.01	-	-
ヘルパンギーナ	報告数 44 定点当たり 0.01	9 0.01	2 0.03	-	3 0.05	-	2 0.02	2 0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数 1,715 定点当たり 0.56	461 0.52	129 1.72	15 0.31	15 0.25	105 0.73	76 0.58	62 0.26	59 0.32
急性出血性結膜炎	報告数 5 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 262 定点当たり 0.39	74 0.39	14 0.82	5 0.42	9 0.64	12 0.33	2 0.06	9 0.24	23 0.58
細菌性髄膜炎 #2	報告数 8 定点当たり 0.02	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	3 0.04	-	-	-	2 0.20	-	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 205 定点当たり 0.43	48 0.59	10 0.77	3 0.43	4 0.50	2 0.20	4 0.50	20 0.80	5 0.45
クラミジア肺炎 #3	報告数 5 定点当たり 0.01	2 0.02	-	-	-	1 0.10	1 0.13	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 42 定点当たり 0.09	3 0.04	-	-	-	1 0.10	-	1 0.04	1 0.09

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第2週

感染症発生動向調査 2016年

■ 感染症の流行状況 2016年 第1週

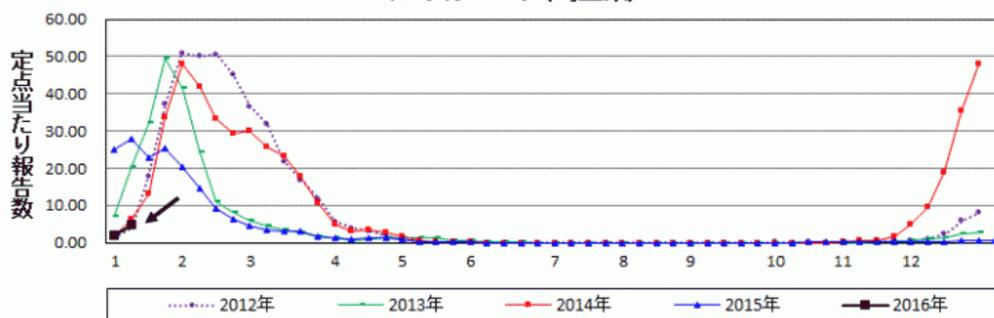
感染症の流行状況 2016年 第2週

2016年第2週(平成28年1月11日~1月17日)の要点 平成28年1月20日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き増加しました。今後の動向には注意が必要です。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	伝染性紅斑	→	★★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	↓	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

▶ お問い合わせフォーム